



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2009年11月号

「主題」・スローガン

- 国際会長 : 「一つとなる力」
- アジア地域会長 : 「一つとなる力」・「夢見るアジア、愛するアジア」
- 西日本区理事 : 「すべてのいのちを大切に」・「いのち・平和・環境」
- 中部部長 : 「ワイズの理念を胸に自信を持って活動しよう」
- プラザクラブ会長 : 「仲間と共にワイズを楽しもう」

【IBM・DBC=国際兄弟クラブ・国内兄弟クラブ】

11月例会・今後の予定ご案内

【11月第1例会(パレットキッズと釣り会)】

日時: 11月7日(土)・11:00- (雨天中止)
 場所: 稲永公園・稲永ビジターセンター前(集合)
 〒455-0845 港区野跡4-11-2 TEL. 052-389-5821

備考: 昼食弁当各自持参

◆雨天中止の場合は、下記場所でホーリング会を行います。中止の有無は午前9時までに連絡しますので、ホーリング会出欠の返事をお願いします。

場所: スポルト名古屋(旧称 ブランズウィック)
 〒460-0007 中区新栄2-45-26 TEL. 052-261-3111

時間: 11:00(現地集合)

【11月第2例会】

日時: 11月26日(木)・18:45-

場所: 名古屋YMCA会議室

内容: 次月例会打ち合わせ

出席者: 役員(鈴木・榎田・高田)

(義務者) 12月担当者(高田・松永)

1月担当者(鈴木・万福寺)

【今後の予定】

1. チャリティーラン準備作業

日時: 11月13日(金)・18:00-

場所: 名古屋YMCA

2. チャリティーラン

日時: 11月14日(土)・10:00-

場所: 名城公園・フラワー館横グランド

◆メンバーの方は会場の設営準備がありますので、午前8時までに集合願います。昼食弁当については後日連絡します。

第13回西日本区大会

日時: 2010年6月12日(土)~13日(日)

場所: 広島国際会議場(大会会場)

◆インターネットをご利用の方は、上記西日本区中部ホームページの「名古屋プラザクラブ」を閲覧ください。

10月例会・その他行事の出欠表 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者			算定
		1	2	M	
直前会長	大島 孝三郎	○	○	⑤	○
	小澤 幸男		○		○
書記	榎田 守隆	○	○	③	○
	後藤 猛	○	○	③	○
	島崎 正剛	○	○	⑤	○
会長	鈴木 誉三	○	○	⑤	○
会計	高田 廣	○	○	②	○
	松永 裕子				
連絡主事	万福寺 昭美	○	○		○
ゲスト					
M=メキップ	1. 部長訪問同行・名古屋グランパス 2. 街頭募金 3. 秋の根の上まつり 4. 部長訪問同行・金沢犀川 5. 部長訪問同行・金沢 6. 四日市クラブ・釣り大会 7. EMC研修会 (○内数字は参加回数を表す)				
出席率合計・(算定合計/会員数) %					88.9
1. ニコボックス (円)		0	0		
2. オークション		0	0		
3. 切手		0	0		
ファンド ・ 当月合計/累計		4000	9000		
◆次月号の寄稿者は鈴木さんです。 Eメール・moritaka_kushida@ybb.ne.jp					

10月第1例会報告

日時：10月8日(木)・16:00-19:00

場所：名古屋YMCA会議室

1. 部報コピー・帳合作業

島崎さんがまとめた部報の原稿をコピー、帳合作業を行う。

2. 連絡事項・鈴木

(1) 11月21日(土)に予定したパレットキッズとの野外活動(ハゼ釣り)は、森宗さんの都合により11月7日(土)に変更する。

(2) 原稿依頼・榎田

部長公式訪問・グランパス(10/3)-榎田

・金沢犀川(10/10)-鈴木

・金沢(10/15)-大島

街頭募金(10/3)-島崎

秋の根の上まつり(10/12)-

四日市釣り大会(10/17)-榎田

EMC 研修会(10/25)-後藤

・400字詰原稿用紙-1枚半程度

・原稿締切日-10月27日

10月第2例会報告

日時：10月22日(木)・19:00-21:00

場所：勝美

1. 連絡事項・鈴木

(1) 南山クラブから、11月1日開催のバザーの頒布品が少ないため、品物の寄付要請がありました。協力できる方は万福寺さんまでご連絡ください。

(2) パレットキッズたちとのハゼ釣り会当日(11月7日)雨天の場合は、ボーリング会に変更します。詳しくは1面参照のこと。

出席者：大島・榎田・島崎・高田・万福寺

(3) 11月13日・チャリティーラン準備作業

出席者：榎田・島崎・鈴木

(4) 11月14日チャリティーラン

・ラッフル券購入

出席者：大島・小澤・榎田・島崎・鈴木・高田・松永・万福寺

2. 老人介護施設音楽慰問・小澤

現在、多くの施設から依頼が来ております。12月に実施する予定ですのでご協力をお願いします。

3. LLブックセミナーについて・森宗

LLブック(読みやすくわかりやすい本)とは、知的障害や自閉症などで読み書きに障害のある人の多くは、新聞や本を読むことが難しく、理解できないのでやさしく読めるように工夫を施している図書のことです。来年の1月16日、LLブックが普及しているスウェーデンから講師をお招きして名古屋国際会議場で講演会を行います。みなさんぜひご参加ください。

本日は森宗さん、渡辺さんをお迎えして日頃の苦勞を癒していただく会といたしました。

街頭募金

2009年10月4日YMCA恒例の街頭募金を実施。今年の我がクラブの担当は名古屋駅。

午後1時20分に名古屋駅のナナちゃん人形に集合。鈴木会長・後藤・高田・島崎の4名参加。晴天に恵まれて募金日和か? 今期は、大島さんに中部部長をお願いしている関係で何かと行事に参加する日が多い。少数のわがクラブでは、メンバー個々への負担がかなり大きい。EMCはせつじつ。



(プラザメンバー4人が募金活動のため名古屋駅前に集結する)

三々五々募金担当のYMCA職員や子供たちが集合。総勢で20名余。子供が小学生を含めて10名くらい。募金のツールの横断幕・募金箱等々を準備して13時40分から募金の開始。子供たちの募金をお願いする大きな甲高い声にまじっておじさんたちのメタボぎみの野太い声が、ビルの谷間にくりかえし発せられる。何となく私たち街頭募金の声はいつもよりも何か大きいなと違和感を覚えつつ、人通りも閑散としている。募金をしている位置は、名古屋人なら知らない人は誰一人いない超有名なナナちゃん人形から南へ50mの歩道上で、背後の東には錦通を見通すところ。右手100mに信号があり、青信号に変わると信号待ちの50-60人の集団が通り過ぎると後は閑散。人が少ないと売り上げ?に影響するなと案じていたら、それもそのはず。今日は名古屋祭りとのこと。別に全員が名古屋祭りの開催場所の榮に集まっているわけでもないだろうに、ただ土日の高速道路割引等々で、天気は募金日和でも世間は散り散り日和。オネガイシマスの声が一際大きくこだまする。

それでも1時間くらい『こくさいきょうりょくぼきんをおねがいします』をセーノで連呼しておりましたが、時間で終了。毎回感心するのは募金箱に寄付する世代が20歳代と年配の女性であることと募金活動をする子供たちのこと。わが身を振り返るとえらい違い。秋の日のヴィヨロンの溜息ですか?

ともかく事故も無く無事終了。我がクラブのメンバーも夕方なら一杯のところまだ日も高いので喫

茶店で喉を潤して解散。ご苦労様でした。

追伸 気になりネットで街頭募金を検索したら名古屋 YMCA がタイムリーにきちっと街頭募金の案内を出していました。日本全国で唯一名古屋 YMCA が情報発信をしていることは素晴らしいことです。ちなみにワイズメンでは今年度の行事として UP しているクラブはありませんでした。広報の点から考えますとネット社会で怠慢。

(島崎 正剛)

秋の根の上まつり

名古屋 YMCA 主催の「秋の根の上まつり」が10月12日、根の上キャンプ場で開かれ、ワイズメンバーとその家族ら70人ほどが楽しんだ。

開会式を終え野外に備えられたテーブルに着く。バーベキューを食べ、まだ紅葉は早いが青い空を見上げてグツと飲むビールの味は格別である。名古屋クラブの渡辺さんとお友だちの伴奏で次々にマイクを持つ人たちのキャンプソングが響く。このキャンプ場に来る度に周辺が綺麗になっている。聞けば「根の上を愛する会」の人たちが、除草や整地などを小まめに行っているとのこと、ご苦労さまです。

午後3時、多くの人との交流が済み、後片付けをしながら春のまつりでの再会を誓い、家路についた。(鈴木 誉三)

四日市釣り大会

今年で30回を迎えた四日市クラブ釣り大会は、10月17日桑名市の精海丸前に15人余が集まり、船3艘に分乗して長良川河口へ繰り出した。今回は遠方の草津クラブから4人、グランパスの阿部さん親子といつもと違う顔ぶれが揃う。

8時出船、わがクラブの後藤、島崎、櫛田の3人に四日市クラブの松岡さんが乗る。川や海の釣りで島崎さんと一緒のときは、仕留めた魚の大きさをビール大瓶1本を賭けて現在3本の借りである。この釣り大会は鬼門らしく今までに勝った記憶は1回だけ、それも放って置いた竿に掛かったもので、あまり自慢にならない。さて1本取り返すぞ、と意気込んだところで雨がパラパラ降り始め、やがて大雨になりだんだん気持ちが萎えてきた。潮が動けば何とかなるの淡い期待に、11時ごろから満ちてきたも一向に釣れない。すでに島崎さんはこの釣り場では見たこともない40cmほどの大物を上げている。終了まで3時間もあるが、ビール大瓶が1本増えることを早々に覚悟した。結局、島崎さんはセイゴ大2尾、セイゴ小5、ハゼ1、おまけにダントツの大物賞を獲得してホクホク顔、私は・・・ハゼ1尾の完敗です。因みに後藤さんはセイゴ小2でした。

帰宅後、悪寒がするので布団二枚をかけて翌日の

昼まで寝ることになる、散々な1日でした。

(櫛田 守隆)

EMC研修会報告

中部EMCセミナーが中部EMCセミナー実行委員会主催により「会員を増やそう！！」とのテーマで名古屋YMCA3F会議室にて、10月25日(日)14:30から開催された。

参加人員は30人、中部9クラブのうち8クラブが参加した。実行委員の渡辺主査の司会で中部部長大島孝三郎氏の挨拶にはじまり、ワイズソング、来賓挨拶西日本区EMC主任廣井武司氏、名古屋YMCA総主事加藤明宏氏と続いた。特に廣井主任のご挨拶の中で西中国部は部員数最下位脱出を目標に中部の131人に追いつこうとしているとの事、中部の会員増強「30人」を頑張ってもらいたい旨の発言がありました。

来賓挨拶後、西日本区のEMC資料、イラスト中心の奉仕活動や新入会員オリエンテーションをプロジェクトで見た後、各クラブの現状と課題をクラブ会長が報告した。グループディスカッションでは3グループに分け、①今の状況を改善するには、何を換えれば良いか？ ②ワイズ発展・会員増強のために、何をすべきか？ の2点のテーマで行われた。

各班とも真剣に討論した結果、会員増強で必要なのは、先ずクラブ員自信の発想が会員増強の必要性を充分認識するところからスタートすべきだ！という結論でした。最後は大島中部部長の点鐘で17:30に閉会した。

(後藤 猛)

部長公式訪問・同行記

◆名古屋グランパスクラブ

10月3日、部長訪問のお供に島崎さん、鈴木さんと私の3人は、名古屋グランパスの第1例会が開かれるYMCAにお伺いした。会場の遊戯室には2畳ほどのマットレスを敷き、茶釜や道具一式が置かれている。今日のメインテーマは坂倉さんによる「日本の茶道について」の講演である。三井会長の点鐘、部長の挨拶と続き、会食の後卓話が始まった。

坂倉さんのお話は軽妙でときには「ほんまかいな」と思うこともあるが、奥さんの助けもあり危ういところで本題に戻る。講演の最後に「みなさんに茶を点てていただきます」、といきなり島崎さんが指名される。茶道は行儀作法にうるさくて堅苦しそうな印象があり、「がさつなわたしは大丈夫だろうか」と心配になる。次は私の番、案の定「茶杓の置き方が反対」とか「茶筌は時計回りで」、「茶筌は振らない」と注意される。

ひと通り実習を終え「おこい」の希望者4人が座

る。「おこい」とは4-5人で1碗のお茶を回し飲みする茶事のことと利休が始めたとされる。「おこい」をする4人の所作を見ながら、豊臣の武将が招かれたお茶会のときの大谷吉継と石田三成の逸話をぼんやりと思い出した。例会終了間際、11月14日のチャリラン参加の話題に「第1走者は・さん」と女性を推す声が出た。大島部長の挨拶にもあったようにメンバーは若く、和気あいあいと活気に満ちている。今後ともこの良き雰囲気を保ちワイズのトップランナーになることを祈りながら、午後9時会場を後にした。(櫛田 守隆)

◆金沢犀川クラブ

去る10月10日、金沢犀川クラブの例会に鈴木会長と2人で公式訪問をして参りました。今回は、金沢郊外の内川スポーツ広場でのバーベキューパーティーのプログラムでした。朝7時半、名古屋の本山を出発し、途中金沢城址公園を一周したりして余裕をもって到着しました。

12時開会の30分前に犀川クラブの皆さんにお会いでき、私たちも準備に参加しました。皆さんはバーベキューの機会が多いとのこと、道具類の持込や、会場設営が手際よく進められ、食材ごとに各人の調理の腕前が発揮される。

三谷会長の乾杯と開会挨拶にはじまり私の部長メッセージの番が与えられました。9月の中部部会への出席に対するお礼、今年の方針、活動計画を述べました。EMCの重視、クラブリーフレットの作成、10月25日のEMCセミナーへの多数参加のお願いなどをしました。他には、犀川クラブのホームページから流れるワイズソングの調べ、年間の数多い卓話者との事前打ち合わせなど多くのことの実行に対して大なる敬意を伝えました。鈴木会長も挨拶を述べました。

再び料理に戻ります。作田メンの丹精込めた手もみぜんまい、川村メンが早朝より釣り上げた天然鮎の串焼き、エビ、カニ、ステーキの鉄板焼き、野菜の数々、握り飯、焼きそばと堪能しました。その合間に平口メンのこまめなスナップ撮影ありとチームワークの良い活動ぶりの一端に触れられました。

爽やかな秋空のもとでの、心地よい一日を満喫させていただきました。犀川クラブの皆さんの温かいおもてなしに感謝しますとともにますますのご活躍、ご発展を祈念申し上げます。(大島 孝三郎)

◆金沢クラブ

10月15日木曜日、金沢クラブへ部長公式訪問に同行した。場所は金沢ニューグランドホテル、18時30分に伊藤仁信さんの司会により始まる。数澤会長の開会点鐘、ワイズソングと続き、会長から大島中部部長、島崎中部部会書記長及び我がプラザクラブの高田が紹介され歓迎の挨拶を受ける。食前感謝のあと出席の皆さんと共に会食を楽しむ。食後大島部長が数澤会長を始め金沢クラブの皆様への歓迎

挨拶に対する返礼をされ、卓話としてボランティア活動での寄付の上手な受けなどを主題としたスピーチを行った。

ある新聞記事を参考にして、まず寄付の趣旨内容をよく理解して貰うことが大切で、続いて信頼性をアピールすること、安心して活動に参加して貰いやすい雰囲気作りが大切であること等、NPOチャリティープラットフォーム等の活動を例に挙げ、約30分間のスピーチをされた。続いて島崎さんからはメネット会の増員及び活動内容の充実を主眼に置いた今後の活動方針について話をされた。

その後、切手の整理、YMCAの歌の合唱を行い20時30分、数澤会長の閉会点鐘で会は終了した。更にその後、二次会をホテルの12階ラウンジにて数澤会長始め伊藤さん、渋谷さん、幸正さんとともにビールを飲んで親交を暖める。

小生は他クラブを訪問するのは初めてであったが、参加してよかったと思います。こうして訪問して感じたことは、我がプラザクラブと金沢クラブの違いである。少数ではあるがメネット会のメンバーも同席されていたこと、例会進行も司会者にメリハリがあり、我々ゲストの参加があったので少し格好を付けたのか、流れが良く感じた。いずれのクラブもメンバーが少なく淋しい思いがした。出来ることならメンバーを増やすように努力が必要だと思う。(高田 廣)

聖書に由来する語句・慣用句・諺

【愛する兄弟たち。あなたがたはそのことを知っているのです。しかし、だれでも、聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。(ヤコブの手紙・1.19)】

【人はしばしば結論や答えを早く求める性癖がある。そのほうが相手に対して優位に立つことができるとでも思っているからであろう。しかしそのようなときには、相手より自分の気持ちが優先している。つい饒舌になり、相手が自分の思うようにならないと腹立たしくもなる。「聞くに早く、話すに遅く、怒るに遅く」とは自分より相手を優先している姿である。(賀来周一著 実用 聖書名言録より)】

【10月13日付日経新聞夕刊に「地域デビュー紳士力で シニア男性 軟着陸のコツ」の見出しで、男性が定年退職後などを機に(定年を迎えた男性の67%)は「地域社会のために何か役に立ちたい」と思っている。(国民生活白書2006年版)ボランティア活動に参加するには、「志は大きく、しかし謙虚に結論を急がず」という行動原則」との記事を読みながらプラザ入会当初、会議のたびに延々と続く無駄話をイライラしながら聞いていたことを思い出した。今は謙虚に結論を急がず黙って傾聴しておりますが・・・。】